



社会システム



再生可能エネルギーの普及にともなって拡大しつつある次世代電力網「スマートグリッド」や、熱や水など多様なユーティリティを最適に運用する「スマートコミュニティ」関連事業を展開しています。

スマートメーター（電力量計）、新エネルギー、系統・配電制御システムなど、電力安定化に寄与する機器やシステムを用い、国内外で進めている実証実験で蓄積した成果を活用し、市場開拓を進めるとともに、復興支援を推進していきます。

（単位：億円）

| | 2009年度 | 2010年度 | 2011年度(予想) |
|------|--------|--------|------------|
| 売上高 | 1,479 | 1,342 | 1,400 |
| 営業利益 | 61 | 28 | 51 |

2010年度の業績概況

社会インフラ関連の設備投資の回復遅れや、素材価格高騰の影響、さらには東日本大震災の影響による顧客の投資計画延期などがあり、売上高、営業損益ともに前期を下回りました。

なお、国内におけるスマートコミュニティ実証事業の本格化が進む中、北九州市（福岡）、けいはんな学研都市（京都）、および九州・沖縄の離島における実証事業に参画しました。さらに、電力量計事業における米国GE社との合併会社「GE富士電機メーター（株）」の設立など、事業拡大に向けた施策を実施しました。

2011年度の市場環境

国内市況は、東日本大震災により不透明な状況にあり、電力・鉄道関連の新規投資抑制などの影響を受ける可能性があります。一方、海外では、中国・アジアを中心に、社会インフラの整備による市場拡大が見込まれ、日本企業による海外設備投資が加速するものと思われます。

2011年度の方針・戦略

日本や中国・アジア市場を中心に、社会インフラ向け、電力需要家向けのビジネスを展開していきます。

社会インフラ向けとしては、受変電設備・電力量計による復興支援に取り組むとともに、スマートコミュニティ実証実験で築き上げたノウハウや実績を活かして、電力網の系統・配電制御システムや、スマートメーター（電力量計）、パワーコンディショナー、電力安定化装置など、スマートコミュニティ市場でキーとなるシステムおよびコンポーネントを中心に事業拡大を図っていきます。

一方、電力需要家向けとしては、節電需要を背景としたエネルギー管理事業、および「製造業」「食流通」などの市場分野において、創エネ、省エネ、安全、防災をテーマとした事業を強化していきます。